

令和4年第6回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和4年6月21日(火) 14時00分
- 2 閉会日時 同日 15時21分
- 3 開催場所 市役所 1F多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 民 輪 惠
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名
教育部長 千 石 剛
教育総務課長兼給食係長 伊 藤 勝
教育委員会課長(未来型児童館担当)
井 上 英 文
学校教育課長 安 富 重 則
こども未来課長 丸 山 常 基
生涯学習課長兼市史文化財係長 北 島 悦 乃
総合教育センター所長 工 藤 憲 人
図書館長 伊 藤 陽 子
教育総務課長補佐兼総務係長 松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移る。

- 6 付議事項
議案第25号 令和3年度加西市教育委員会点検評価について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名
なし

- 8 質問及び討議の内容

議案第 25 号 令和 3 年度加西市教育委員会点検評価について

教育総務課長より説明する。教育委員の皆様には、令和 3 年度点検評価書をご精査いただき感謝している。ご指摘のあった内容、語句については、各担当にて再点検、修正した上で、最終案として本日お手元に配付させていただいている。

語句では、例えば発達支援アドバイザー、スクールソーシャルワーカーあるいは学校、こども園といった名称の統一や語句の修正、並べ替え等を行った。大きな修正点は以下のとおり。

まず、1 ページの総括表での変更点は、下から二つ目の番号 15 の達成度を 4 から 3 に、そして、番号 16 の達成度を 2 から 1 に修正した。

2 ページ以降は各評価になる。まず、2 ページ番号 1 の一番下の「今後の課題」の欄で、私立園の参加率が低い理由として「開催趣旨の説明不足」を追加した。そして、下の行に「参加率を挙げることで、公私立ともに保育の質の向上につながる」という文言を加え、最終行には「小 1 プロブレムの解消やスムーズな教育活動の移行を目指し、相互理解を深めていく」という文章を加えた。

3 ページ番号 2 の「達成度の説明・理由」の欄で、前回の文章に「利用定員の拡大」という文言を加えた。それから、その下の段の「今後の課題」の欄では、「市の SNS や広報誌による PR」を加え、待機児童解消の対策として「保育士・保育教諭合同就職／園案内フェア in 加西」開催や大学・専門学校等のキャリアセンターへ訪問、または教授等と直接交渉する」という文章を加えている。

4 ページ番号 3 の「主な取組の成果」欄、2 項目目の成果の説明で、「保護者の利便性の向上を図ると同時に、各学童宛にメール通知が届くことで支援員の負担が減り業務効率化に繋がった」という説明を加えた。また、一番下の「今後の課題」の欄において、「今後は児童の出生数から勘案して定員拡大が見込づらいため、支援員確保により可能な限り入園希望児童の受入れに努めたい」という一文を加えている。

5 ページは番号 4 の「主な取組の成果」の欄、最初の文章の文末を「校内外の研修会の充実を図ることができた」と改めた。三つ目の文章では、「教職員の指導力向上が図れた」という文言を追加した。また、「達成度の説明・理由」の欄には、「教職員が自校の児童生徒の実態を把握し」という説明を加えさせていただいた。

7 ページ番号 6 の「今後の課題」欄には、部活動指導に関する項目を入れていたが、今回の見直しでその行を削除している。

8 ページ番号 7 の「取組内容」欄の二つ目の項目で、「拡大し、素材を活かした調理の工夫を図る」と説明を改めた。そして、「今後の課題」欄では、「給食の質を落とさない」を「質のレベルを上げる」に変更している。

9 ページ番号 8 では、指標の目標値を変更した。当初設計の数値から実際に工事を

行う段階で、設置する LED の数が確定したので、実際に 100%完備した数である 1,448 基に数値を改め、令和 3 年度に 100%完了したことが正しく分かるように訂正をした。

11 ページ番号 10 も目標値の変更をしている。令和 4 年以降の目標を 2,600 から 2,700 に変えた。

12 ページ番号 11 の「主な取組の成果」欄では、最初の文章に「小中学校の教員が集まり」という文言を加えた。「今後の課題」欄の最後の文章には「ICT 活用も含めた、より効果的な小中・小中連携の取組」と文言を改めた。

13 ページ番号 12 の「達成度の説明・理由」の欄に「幅広い世代の利用促進のため夏休み子供向け講座等を開催した」という説明を加えた。また、「今後の課題」欄では、「交流スペースや展示スペースを設けるなど講座や貸館以外の利用の促進を推進する」という説明文を加えている。

16 ページ番号 15 については冒頭でお伝えしたが、達成度を当初の 4 から 3 に変更している。

17 ページの番号 16 についても、達成度を 2 から 1 に変更している。それから、令和 3 年度図書館サービス利用者数が確定したので、98,145 人に訂正をした。

以上、ご指摘の点全てを反映できたわけではないが、ご指摘いただいて修正した大きな箇所についてご説明させていただいた。よろしくお願ひしたい。

教育委員からの意見

- ・例えば 3 ページの「幼児期の子育て支援の充実」の「主な取組の成果」欄の下の項目に、「待機児童の解消については、小規模保育施設の開設等を実施した」とあるが、実施したことは取組であり、取組の成果ということ考えると、もう少し何かの言葉がプラスで欲しいと今感じた。取組を実施してこういう成果があったということをもう少しだけ付け加えていただけたらと思う。また、16 ページ図書館についてのところで、一番下の「今後の課題」の欄には「先生」という言葉が使われている。図書館からすると、「学校の先生」という言葉はよく使われるのかとは思いますが、公式には「先生」よりも「教職員」という表現のほうがいいのではないだろうかと思ったところである。細かいことで申し訳ない。
- ・私も先ほど深田委員が言われたこととほとんど同じ意見なのだが、やはり「こういうことを実施した。だから、目標は達成できた。」ではなしに、「こういうことを実施した。だから、こういうふうな成果が出て、子どもたちがこういうふうな効果を受けた。」というような書き方のほうがいいのではないか。そのまま「実施した」だけだと、少ししっくり来ないなと思った。逆に、「こういう成果が出て、子どもたちがこうであった。」というような書き方のほうが、教職員や子どもたちのモチベーシ

ョンが上がるのではないだろうか。私は去年、おとしからそれを思ってきた。そして、もしそうした成果が上げられなかったのなら、その下の「今後の課題」として「今回はこうこうであったけれども、次回はこういうふうにして対策を立て、成果を上げる」というふうな形式のほうが分かりやすいのではないかと思う。「実施したから何や」という書き方で「実施できたから評価が B3 や A3 や」と言っても、私にはしっかりと来ないかなと思ったところである。

9 議決事項

議案第 25 号 令和 3 年度加西市教育委員会点検評価について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

5 月 24 日の前定例委員会以降について報告する。

同日 5 月 24 日、定例教育委員会終了後、令和 4 年度第 1 回総合教育会議が行われた。議題は大きく二つで、未来の学校構想検討委員会に向けて実施されたアンケート調査の速報と、4 月 18 日オープンした sora かさいにおける平和学習の利用についてであった。なお、アンケート調査については、まだこの時点では速報の段階であり詳細の分析はできていなかったが、ランダム抽出されたこども園や小中特支の保護者 1,414 世帯、小中特支教職員 302 名、区長、民生委員、青少年補導委員などの地域代表 797 名を対象とし、合計 2,513 件取られた。回収率は、保護者 60.4%、教職員 95.4%、地域代表 65.4%である。

これについては、私があまり詳しいコメントをすることではないと思うが、その傾向や数だけでざっくりとした言い方をすると次のようである。中学校 2 校案に関しては、保護者地域代表とも素案の再検討が必要という意見のほうが少し多い感じであった。ただ、理由のトップは通学に関することだったため、これについては、アンケートに基づき事務局から検討委員会にいろんな案が出されるであろう。小学校 11 校存続案に関しては、保護者、地域代表ともに素案に賛成の意見が上回っていたようである。また、教職員については逆であったが、これは今後の問題としてさらに話し合いをすることが必要かと思われる。詳細については今後、オープンにされるので、ご確認いただければ幸いである。

sora かさいでの平和学習については、教育委員を含めた意見を集約すれば、sora かさいは観光施設なのか、それとも平和教育や平和学習の施設なのかというスタンスを

はっきりさせるべきであるということだ。教育委員会としては、ただ単に「戦闘機、かっこいい」という感想で帰ってもらっては困るという意見が出された。市内の児童生徒はもとより、市外から今年も 80 組ぐらいのたくさんの修学旅行生が来てくださっているので、明確に平和学習の場であることをきちんと示す必要はあるというのが、各教育委員のご意見だったと私は了解している。それは市長との話合いでも十分に意見をご提示いただいたと考える。

そして、5月26日は学校計画訪問であった。教育委員の皆さん方もお忙しい中、各校を回っていただいた。この日は泉よつばこども園、西在田小学校、泉中を訪問した。皆さんもそうかと思うが、私は教育現場のありようを肌で感じられる学校訪問というのは、いつもながら大変重要だと思っている。例えばこの日もこども園の日常や困り感というのはもちろんのこと、園長先生の幼児教育に対する熱意も伝わってきて大変有意義な訪問だったと思う。学校も同じで、正直なところ去年は「Chromebook の使い方は本当にこれでいいのか」とか、「どれぐらい使っているんだろう」という少し不安な感じもあったが、今年には先生方も慣れて、大変有効に使っておられた。でも、それにも増して子どもたちが大人顔負けに Chromebook をさっさと使って、いろいろなことを調べたり、まとめたり、発表したりしていることに驚かされ、子どもたちのたくましい成長ぶりを実感した。

5月27日は校長面談が行われた。校長先生方1人1人のビジョンないし、ご意見をおうかがいし、いつも皆さんが前向きに一生懸命取り組んでくださっているのを肌で感じる。

5月30日には第5回未来の学校構想検討委員会が行われた。この会議の内容は全部オープンにされるので、HPでご確認いただきたい。

5月31日には、定例校長会が行われた。

6月2日は、6月市議会第1日目であった。

6月3日には、さわやか市民賞授与式が行われ、リレーカーニバル1位等の入賞をされた藤原瞭希さんに対してさわやか市民賞が贈られた。彼女はあちこちで好成績を残しているので、慣れたもので、「おお、また来たか」という周りの反応の中でも堂々としながら、「オリンピックに出たい」とはっきり明言するような明るく前向きな女子である。

6月5日には、職員採用試験と、引き続いて採用試験委員会が行われた。こここのところ加西市職員の採用試験を受けにくる方々は大変多くなってきている。面接や集団答弁を聞いていると、自分の意見をとてもしっかりと話されるいい若者たちが加西市職員に応募してくれてきていることに、感謝しつつ驚いている。このように加西市にいいスタッフがどんどん集まってきている予感がして、疲れるものの大変うれしい試験委員会であった。

6月8日には先ほどに引き続き、北条小学校と北条中学校の計画訪問が行われた。

ここでも STEAM 教育を含め各学校で大変前向きな取組が実践されていると感じた。何よりうれしいのは、自分から STEAM 教育担当になりたいと手を上げてやってくれる若手の先生方が、それぞれの学校にいるということだ。これは若者の可能性というか、未来を感じ取る力なのかと思ひ、頼もしく感じている。

そして、6月9日には社会教育委員会があった。社会教育委員会の在り方や今年しなくてはいけない公民館の在り方検討委員会など、議論は尽きず、時間がオーバーするぐらい大変熱心に議論がなされた。詳細はまたご覧いただきたい。

6月10日は6月市議会第2日目であった。

6月11日土曜日には、北播磨地区、つまり多可町、西脇市、加東市、小野市、三木市、加西市の中学校吹奏楽祭が市民会館大ホールで開催された。中学生の吹奏楽部のみなさんが加西市の会館に集まり、私もお挨拶をさせていただいたのだが、何と3年ぶりであり、本年度で第36回を迎えたということだった。みんなで伝え継いできた催しが2年間できなかつたわけなので、皆さん本当に開催を喜び合っていた。私が学生の頃は、吹奏楽部といえば中学文化部において花形であった。また、吹奏楽部に入って初めて本格的に楽器の演奏をしたという友だちもたくさんいたものである。こうして音楽を通して子どもたちが人間性の幅を広げ、どんどん成長していくということは、素晴らしいことである。

6月13日は6月市議会第3日目であった。その後、また採用試験委員会が行われた。今年は何でこんなに多く行われているかという、実は10月採用と来年4月採用の両方を行っているからだ。正直に言って、審査員も本当に土日ずっと審査、審査が続いている。若者と加西市の将来を決める大事な面接なので、かなりのエネルギーを使う。ではあるが、前述のように大変優秀な人たちが採用試験を受けに来てくれているというのは誇らしいことだと思う。

6月16日は計画訪問で、北条ならの実こども園と富田小学校を訪問した。両教育現場ともに大変熱心な教育が行われている。特に驚いて感動したのは、北条ならの実こども園で、お祭りが大好きな4歳ぐらいの子がリーダーになり、子どもみこしをしていた。もちろん子どもたちが廃材で作った物なので、本当にこれがみこしかというような物なのだが、すごい勢いで掛け声をしながら「よいやさー、よいやさー、よいやさーさー」と言って一人が指揮を執りながら練り歩くのが上手でびっくりしてしまった。小さいときから体でそういうことを実感して地元を愛し、誇りを持っているということがありありと分かり、こういう子どもが大きくなったらどんなふうになるのかとても楽しみである。感動しながら見せていただいた。また、その日は代表区長会も行われた。

6月17日には市議会総務委員会が開かれた。

また、6月19日には、職員採用試験が行われた。

そして、6月20日には、朝8時半に出発し、松阪市立鎌田中学校を視察した。後で、

皆さんからも発言があるとは思いますが、本当にお疲れさまとお伝えしたい。片道車で3時間半から4時間近くかかったうえ、予定では13時から15時40分の視察予定だったのが、16時を回るぐらいまで大変熱心に質疑が続き、いろいろと説明もしていただいた。

なぜ鎌田中学校へ視察に行くのかは、道中、事務局から未来の学校構想検討委員の方々にもう一度きちんとご説明差し上げた。繰り返しにはなるが、どうしてこの中学校を選定したかという点と以下のとおりである。視察先としてたくさん候補はあったが、一体何を視察しに行くかということが大変大事であり、まず、鎌田中学校はコミュニティ・スクールを導入している中学校だからである。地域、住民、保護者、生徒の意見を反映させ、どのような学校をつくるのか、どのような生徒を育成して、どのような人づくりを目指すのかというようなことが、大変はっきりとビジョンとして示されている。

そして、中学校プラスという複合施設でもある。実は学校の中には不登校対策や特別支援教育等々、未来の子どもたちの教育に向けたきちんとした考え方を具現する学校であるということだ。そして、複合施設ということで、社会教育施設、地域交流センター、公民館を併設している。

2年前の建設で、新しい発想を取り入れられた施設である。選んだ理由の三つ目としては、校舎の機能とデザインが一体化した魅力があり、生徒に通いたい、保護者に通わせたいと思わせる建物であることだ。行かせていただいて、自慢できる、誇りに思える校舎だと私は思った。校舎は輪っか型で吹き抜けの大変斬新で美しい建物だった。

もう一つの理由は学校規模である。鎌田中学校の生徒数は大体400名前後なので、素案で提出をしている北条中学校と、もう一つの仮の名前で言えば新中学校のどちらとも、ほぼ同じ規模であるというようなことも、選定させていただいた理由の一つである。

未来の学校構想検討委員の方々には、よほどご都合が悪いという方を除き、大勢にご参加いただき、実際に見ていただけた。今回の視察を含めて、今後、具体的に未来の学校や中学校の在り方というものを検討する段階へ入っていかれるのではないかと思う。日帰りだったので疲れたが、非常に充実感があり良かったと思う。教育委員さんも視察にご参加いただき、ありがたく思っている。

教育部長

冒頭の教育長の挨拶でもあったように、今月は6月ということで定例議会が開かれている。その内容について報告しておきたいことがあるので、お時間を頂きたい。まだ、現在、会期中であり、最終日は6月24日ということで、議案を含めまだ審議中であることはご理解いただきたい。

まず、今回、教育委員会として補正予算を計上している。その議案については、現在、予算委員会にて審議中であり、総務委員会分科会での質疑は終わっているが、建設経済厚生委員会と一つになった全体会というものが明日 22 日に開かれ、そこで採決が行われることになる。それが委員会採決で、24 日の定例会最終日に本会議採決というふうな経緯で議会の手続が進む予定である。

補正予算の内容については、一つ目が教育委員会費で、教育委員会における報酬費を増額している。これは未来の学校構想検討委員会の開催頻度を 2 か月に 1 回から月 1 回程度に増やしたことに伴う報酬等の増額である。

二つ目は加西 STEAM 教育推進事業ということで、これはかつて教育長からも説明のあったデジタル田園都市国家構想の遠隔 STEAM の部分での増額補正である。これについては 1 億強の増額をしている。内容は割愛させていただく。

次に、特別支援学校の管理費として 50 万円の増額をしている。これについては市内企業のカサイコンクリートさんが、ある意味例年というか、多い頻度で寄附をしてくださっている。今年も特別支援学校で活用を願いたいという意向があったため、学校とも相談し陶器を焼く窯を購入する予定である。これは学校の取組として陶芸で作った物を焼いて作業するということがあるのだが、現状、窯は修理しつつ使えるものの、結構古くなってきたので購入できたらというお話だったので、50 万円をそれに充当するため補正をしてもらっている。

四つ目は図書館運営費ということで、これもデジタル田園事業における図書館ネットワーク事業である。約 1 億 4,000 万弱という補正をお願いしている。

最後に、給食施設の運営事業として 72 万の補正をしている。これについては農水省の食育事業の補助の採択が得られることになったため、食育事業の拡充として補正をお願いしたものである。

本会議においては、4 名の議員から質疑があり、内容説明の答弁を行った。一般質問は、通常、市政全般にわたり議員方が今回取り上げたい事案を質問される。一般質問における主立ったものとしては、未来型児童館の今後の進め方について、市内の歴史文化財の保存と活用に関して、学校で自然と触れ合う子どもたちの環境、これは子どもたちが自然と触れ合うための学校環境整備といった意図であるが、そういった点について尋ねられた。加えて、未来の学校構想に関する質問やヤングケアラーの現状について、また、教員免許更新制度が廃止されることに伴い、加西市教職員の指導力に関する質問があった。そういったものが一般質問において挙げられている。それぞれについて、教育委員会の考え方を説明し、一定、議員の要望事項を承っているという現状である。

教育総務課長兼給食係長

オンライン遠隔同時授業を活用した地域 STEAM 教育の実施について説明する。先ほ

ど部長から紹介があったとおり、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、今年度、加西市では複数校同時のオンラインや遠隔オンラインを活用した専門家による授業の実施や、また、公民館と連携しながら STEAM 教育の実施、あるいはそうした授業を行うための STEAM ラボという特別な部屋を整備する計画を予定している。事業費は1億708万4,000円、内訳は委託料ということでソフト事業と、備品購入費としてハード経費という二つに分けさせていただいた。この半分の額は国の交付金である。事業は1年間で令和5年3月31日までに執行する。

ソフト部分の委託事業については、STEAM推進計画の策定、あるいはリーフレットやパンフレット等の作成、オンラインの職員研修などを予定している。また、夏休み以降、子どもたちが実際に体験して学べるような公民館での体験プログラムや STEAM 教育を学ぶ小中学生や社会人のための出前授業といったものを今年度、計画している。STEAM ラボについては、小中学校や特別支援学校16校のPCルームを改装し、その部屋に行けばオンライン授業が手軽にできるような部屋を設けたいと考えている。併せて、三つの公民館と総合教育センターについても、同様のオンラインで活用ができるスペースを設けていきたい。6月議会で承認いただければ、STEAM授業ラボ整備の事業については、7月から3月末にかけて進めていきたいと考えている。

併せてもう1点、給食アンケートについて報告する。学校給食アンケートの実施ということで、6月30日付で各学校に配布する。これは前定例会で教育委員の皆さんから学校給食についてのご意見を賜った。それで、実際に毎日給食を食べている子どもたちが普段どういう思いで食べているのか、今回無償化になったこの機会を捉え、アンケートを実施することにした。子どもたちが簡単に答えられるような内容にした。アンケート結果については、内訳を集計した上で、また皆様にご報告させていただきたいと思っている。

こども未来課長

任期満了に伴う子ども・子育て会議委員の任命について報告する。今年度に改選ということで、子育て中の保護者の委員を公募し3名の方が応募された。一矢さんと橋本さんは引き続きご応募いただき、有川さんという方が新たに応募をされたので、予定どおり3名となった。それから、子ども・子育て支援に関する事業に従事する者の委員については、各種団体の代表者として引き続き就任していただいている。

それから、子ども・子育て支援に関する学識経験者の委員については、3名の方に引き続きお願いしているところであるが、前回まで日ノ本学園短期大学の学長さんが委員に入っていたが、今回、学長を退任されるということでお伺いしたところ、このたびは委員を控えさせていただくということだったので、もともとの3名に戻るようになった。それから、その他市長が認める者の委員としては、下村民生・児童委員会長に引き続きお願いをしている。今年度から2年間、このメンバーで子ど

も・子育て会議をして、子育てに関する議題についていろいろな議論をお願いしたいと考えている。

それから、保育士、保育教諭合同就職/園案内フェアについて報告する。今週土曜日に、民間保育園、こども園の保育士、保育教諭の募集の面接または園の案内が行われる。中途採用の方、新卒の方、また、1から3回生の学生の方に園の案内をする場を設けるため、福祉会館にて1時から3時に開催をさせていただく。参加園はチラシにあるように八つの園。今回は3回目となり、去年は13名の参加者があった。今年は20名程度来ていただけないかと思っている。近隣や県内21校の大学のうち7校に学校訪問をし、参加依頼の呼びかけをしてきている。

教育委員からの質問とこども未来課長の回答

・確認なのだが、令和4年の保育士さんの募集は何名来ているのか？

(回答) 申し訳ないが、各園のことなので数値は知らないのだが、各園1、2名の採用予定というところがほとんどである。毎年一定数が補充されるので、一気に3、4名という規模ではなく、1から2名というところかと思う。

・例えば20名来られた場合、その20名を採用してから、あなたはここの園、あなたはここの園というのではなく、こども園ごとに募集に来られた方を一人ずつ面接していくという感じなのか。

(回答) 福祉会館に八つの各園のブースを設けた上で、就職面接会なので参加者は自分の好きな園のブースに行き、園の案内や説明を受けることができる。そのように自由に参加いただけるような仕方でしたいと思っている。

・掛け持ちはできないのか。

(回答) 可能である。それは皆さん合意の下で、学生さんが1回参加すれば市内の複数園のお話を聞くことができるようになっている。その辺りは学生さんなり、採用希望者みんなで、各園のブースに行かれるグループもあると思う。それについてはそれぞれの園が魅力を出して、採用活動につなげていただくというところである。この就職フェアをしたからといって、必ず採用が出てくるというものではなく、各園は年間を通じて採用活動を行っているので、その一端としてこうしたイベントを開催させていただいている。

総合教育センター所長

令和4年度教職員教育講演会について報告する。教育講演会は、年に一度、こども園教諭、小中特別支援学校教職員を含む全教職員が受講する研修である。これまで学

校安全、道徳教育、子どものネット社会、食育など、全校種に共通する内容で開催してきた。今年度は文筆業、コメンテーター、ラジオのパーソナリティーなど幅広くご活躍のお笑いタレント山田ルイ 53 世さんをお招きし、「僕たちにはキラキラする義務などない」をテーマに、中学2年生から約6年間の自身のひきこもり経験を踏まえて、ひきこもりや不登校についての講演を計画している。7月27日水曜日13時30分から市民会館文化ホールにて講演会を行い、質疑応答も含め15時30分に終了予定。教育委員の皆様におかれては大変お忙しいとは思いますが、ぜひ出席していただけたらと考えている。

教育委員からの質問と総合教育センター所長の回答

- ・いろいろたくさんの候補があったと思うが、その中でどうして髭男爵さんになったのか。

(回答) 今、不登校の問題と不登校を抱える保護者の悩みの問題が、我々の中では一番大きな問題の一つになっている。それから、山田ルイ 53 世さんは、三木市出身ということで地元の方であり、近隣で不登校関係の講演をされて好評であったということが耳に入ってきた。また、本も出され、こちらでも好評ということで、内容は若干変えておられるかも知れないので、聞いてみないと分からないのだが、我々としては今のニーズに合うと判断し、今回来ていただくことにした。

- ・髭男爵さんのラジオとか聞かれたことはあるか。地元の方というと、少し興味がある。

(回答) 私は聞いたことはない。

図書館長

「令和4年度加西市立図書館夏休みキッズイベント」について報告する。図書館では、夏休み期間中に様々なイベントを計画している。

まず、一つ目が「親子で楽しもうキッズ工作『ピョコピョコもぐらを作ろう』」で、小学生の親子を対象に7月23日10時と14時の2回開催をする。申込みは7月10日から図書館ホームページよりWebでの申込のみで、各回先着10組。

二つ目は、「プログラミング・ワークショップ『CoderDojo 加西 in 図書館』」である。これは毎月開催しているワークショップで小学生から高校生を対象としており、7月24日10時15分から開催する。申込みは7月10日10時から図書館ホームページよりWebでの申込のみ、先着6名。

三つ目は「夏休みポスター制作ワークショップ『楽しくポスターを描いていこう』」で、小学校3年生から6年生を対象に7月31日10時30分から開催する。申込みは7

月 17 日 10 時から図書館ホームページより Web での申込のみ、先着 8 名である。

四つ目は、北条高校生によるおはなし会「北条高校『らかんくん』おはなし会」で、8 月 14 日 11 時から開催する。受付は当日先着 10 名。

五つ目はお子様向けの映画会、「かさい DE シネマ『モンスター・ホテル』」である。8 月 21 日 13 時開場、13 時 30 分開演となる。図書館カードをお持ちの方限定で行う。申込は 8 月 6 日 10 時から、図書館ホームページより Web での申込のみ、先着 60 名。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・令和 4 年第 7 回 定例教育委員会 7 月 19 日 (火) 14:00～1 F 多目的ホール
- ・令和 4 年第 8 回 定例教育委員会 8 月 24 日 (水) 14:00～1 F 多目的ホール

1 4 その他

・教育長の報告の中にも学校訪問の話があったが、私からもそれについて付け加えてお伝えさせていただきたい。5 月中旬から今まで、学校訪問に順次行かせていただいております、まだ全ての訪問が終わったわけではなく、これは 7 月まで続いていく。2 年前はコロナの影響で学校訪問はできず、また、児童生徒の皆さんは、給食や授業中もできるだけ前を向いて、みんなで輪になって会話することもできない状態だった。しかし、今年に入って学校訪問をさせていただくと、皆さんがグループになって会話するなど、本来の授業の姿に戻ってきているなど感じている。まだマスク等は外せないでそういう意味でのご不便はあるのだが、学校ごとに最大の注意を払いつつ、できることでベストを尽くしてくださっているということに、本当に感謝を申し上げたい。現状について報告させていただいた。

・私はこの日曜日、久しぶりに図書館を訪れた。3 月に改装された AV コーナーも前はぎゅうぎゅうに詰まっていた、CD を借りるのもなかなか落ち着かなかったのだが、大分広くなったことでゆっくりできた。また、4 階の皆さんが勉強や本を読まれているところが、きちんとコロナ対策され、1 人 1 人安全に本が読めるスペースもきれいにできていた。そして、私と息子が一番びっくりしたのは、本を 8 冊借りたときに、カードをかざして本を置くとそのままバツと全部読み込まれたことである。以前はピッピッと一冊ずつ読み込んでいたけれど、一括で貸出しできることに驚

きを感じた。

要望ではないが、1点言わせていただきたい。私には借りたい本が1冊あった。検索をすると一応出てきたのだが、それがどこにあるのかと場所の検索をかけたところ、あまりにも広いスペースが示された。まあスタッフに聞いて探せば良かったのだが、スタッフも忙しそうだったので、結局「もういいわ」と思って挫折してしまった。そういうことがあったので、もしシステムが変えられるのなら、もっとピンポイントに、例えば15の書架のところにありますよというようなシステムに変えていただいたほうがいいのではないかと。検索で場所が示されたので、実際に何分ぐらいで探せるかと思い、探してみたのだが、私が見るところが悪かったのかも分からないが、15分ぐらい探して結局挫折してしまった。もし良かったらピンポイントでここにありますというふうなシステムに替えていただけたらいいなというのが、私が図書館で感じた感想である。

でも、本当にきれいになり、以前に比べて、皆さんが落ち着いてゆっくりされているという感想を持った。また、これからもいろいろと大変だと思うが、よろしくお願ひしたい。

(回答) 申し訳ない。検索をすると、本ごとに請求記号があって、図書館で本を探し慣れている方はその記号で大体の場所が分かるのだが、なかなか慣れない方だとそれを見ても一体どこなのか分かりづらいということはあると思う。近くシステムの入替えがあるので、その辺りはもう少し分かりやすくできるよう考慮に入れたと思っています。また、引き続き図書館のご利用をよろしくお願ひしたい。

- ・9月の予定表をもらったので、学校教育課長にお聞きしたい。ここに中学校の体育祭や小学校の運動会の日程が書かれている。コロナの関係で去年まではいろいろな制限があり、午前中で行われるなどいろいろとあった。各学校で決めていただくことだろうとは思いますが、大体今年については1日頑張つてやろうとか、昼までにしようなどといったことはあるのか。

(回答) 運動会、体育祭についてはコロナ前から検討があり、小中の校長会と教頭会それぞれから半日で行うと聞いている。お昼のお弁当はコロナ禍において大変やりにくいということもあったが、それよりも以前から保護者のほうでいろんなご準備があることや雨天で延期等の対応などを考えたとき、お昼にわたることは結構、家庭にも負担になるというとも校長会から聞いている。それで、PTAと協議した上で、全校午前中で終わると聞いている。ただし、中学校は午後から生徒たちが片づけをするため、競技そのものは午前中に終わるが午後もいると聞いている。

- ・私の中学校の経験でも、部活動行進なんかは着替えとかに結構時間がかかるので、昼までにどうするのかなど思ったら、案外子どもたちがスムーズにやってくれて、

逆にびっくりしたという経験もある。また、リスクもあるし、お弁当を用意できる家庭もあれば、日曜日に仕事に行かれるなどでそうでない家庭もあるから、私の個人的な意見としては、いい方向かなというふうに思う。子どもたちに発表の場を確保してあげないといけないが、逆に、コンパクトにしつつ充実した会にできたらいいと思う。

あと、沼澤委員も言われた学校訪問については、行かせていただいて本当に平常に戻りつつある中、Chromebook を工夫しながら使っておられた。当然、授業でこれを絶対に使わなければいけないというものではないが、場面、場面に応じて先生方が工夫されている姿を見ることができている。

実は、昨日は松阪の視察へ一緒に行かせてもらった。向こうの教育長さんも、とにかく使えと。機械ものだから壊れるのは仕方がない。だから、壊れたらいけないから使わないというよりとにかくしっかり使って、それで壊れてしまうのならまた新しい物に買い換えたらいいいわけだから、どんどんやってくれという姿勢を松阪でも言われていた。これは以前から民輪教育長も言われていることであり、やはり全国的にそういう動きがあるのかなと思いながら視察のほうにも行かせてもらった次第である。

- ・もう1点、申し訳ないがお聞きする。あと1か月すると夏休みに突入するということで、毎年言われていることだが、小中学校、こども園など全部を含め子どもたち全員に対して、何か熱中症対策かなにかを考えておられるのか。今、言われている体育のときとか、特に学校内でマスクについての指導などはされているのか。

(回答) 文部科学省から発出された文書が6月上旬に届いた。テレビニュースなどの報道が先行したが、すぐに学校のほうでもその文書を取り入れ、「できるだけマスクを外す」というものから、「外すことを指導する」という状況になっている。であるので、体育や部活動については、昨年度から当然のこととしてそうしていたのであるが、登下校中等も含めて、特に低学年の子どもたちは自分の意思で外すということがなかなかできないので、積極的に教師のほうから声をかけマスクを外すよう指導させていただいている。ただ、状況や個人の意思というのもあり、どうも子どもたち自身がマスクを外すことを嫌がるというか、つけていることで精神的安定を保っている部分もあるようでもあるので、状況は踏まえ、保護者にもご理解いただきながら、指導をしているところである。

(回答) こども園についても、国より同時期にマスク対策についての連絡があった。3歳未満については、基本的に以前と同様で、マスクをつけなくていいということではないが、強要はしない。3から5歳児についても、原則は状況に応じて必要な場合にのみマスクをつける。当然、屋外ではつけなくてもいいし、登園においても保護者の意思によってはつけなくてもいい。ただ、状況によってつける場合は、先

生のほうが指導してつけさせることもあるとして、原則は自由で、保護者や子どもさんに任せるような対応をしている。

- ・マスクを外して体育の授業を受ける子どもたちが大分増えてきたようだ。これから、登下校時などは多分暑くて大変だと思うので、よろしく願いしたい。

- ・最近では、2、3日前に、高校生か分からないが、部活動のダンス部か何かで、マスクをつけたまま、何時間していたかは書いていなかったが、結局、過呼吸か何かを起こし救急車で運ばれたというニュースがあったので、その辺も少し気をつけてやっていただきたいと思う。やはり心配してなかなか安全面でマスクを外しにくい方もいるかもしれないが、十分注意していただけたらと思う。今後ともよろしく願いしたい。

- ・少し生涯学習課長へ伺いたい。コロナが大分収まってきて、学校活動もふだんに戻ってきている。例えば公民館活動や講座の参加率とその様子など、分かる範囲で結構なので教えていただけたらありがたいと思う。

(回答) 公民館活動の現状については、自主活動である登録グループにおいては2年間活動を自粛したことが影響が全くないかといえば、そのまま活動が再開できなくなる登録グループがあるなどの話を聞いている。各公民館主催の講座については、まだ今年はマスク着用や手指消毒の徹底などいろいろな制限があるものの、皆さんやりたいという思いを持った熱意のある方ばかりであるので、おかげさまで申込開始とほぼ同時に定員を達したという報告も聞いている。去年まで料理教室関係の試食等は全て止めていたが、今年からあまり活発におしゃべりしないようお願いしながらではあるが、試食はできるようになった。学校生活もそうだと思うが、公民館活動についてもほぼコロナ前に近い活動を行っていくようにしている。

ただ、かしの木学園等、公民館によってはかなりの登録者数を抱えている館もあり、今まで研修室等教室での座学ができていたものも、現在は教室での開催を避け、受講者同士の間隔が取れる体育館に椅子を並べ、きちんと換気しながらやっていただいている。登録グループによっては自主的な活動になるため、各館長から働きかけやお声がけなどを工夫しながら、また、活動に際してのご相談に乗るなどしながら、行っているところである。

- ・特に、我々のような上の年代の方が増えてくると、そこへ行っている方と話をしたり、新しい話を聞いたりという活動が大事だと思う。一方、コロナが蔓延しては困るので、現状をよく見つつ環境対策もまめにさせていただいて、活動が増えていくことを望んでいる。感謝をお伝えしたい。

・その際にマスクについてはどういう指導をされているのか。

(回答) 基本的に受講時などの環境については、まだマスク着用のままでお願いしている。ただ、夏場に向けて運動講座などは、県からの指導等を遵守しながらも、各館と協議をしながら判断していきたい。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和4年6月21日

出席者

(出席者署名)